

2019年度

全学部統一入試

世界史 B

[60 分]

【第1問】18世紀から19世紀にかけてのヨーロッパに関する次の文章 A と B を読むとともに、地図【I】を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

ナポレオン＝ボナパルトは、フランス革命にともなう混乱の中で、軍事指導者として頭角をあらわした。ナポレオンは、1796年にオーストリア軍を破り、(a)1798年にはエジプトに遠征した。

1799年までに周辺諸国が(b)第2回対仏大同盟を結んだことをきっかけとして総裁政府が国民の支持を失うと、ナポレオンは（ア）をおこし、事実上の独裁権を獲得した。

ナポレオンは、（イ）とアミアンの和約を結び国の安全を確保するとともに、ナポレオン法典を公布するなどした。1804年には皇帝に即位し、ナポレオン1世と称した。

問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ヴァンデーの反乱
- ②テルミドール9日のクーデタ
- ③8月10日事件
- ④ブリュメール18日のクーデタ

問2 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①イギリス
- ②オーストリア
- ③プロイセン
- ④ロシア

問3 下線部(a)に関連して、ナポレオンのエジプト遠征時に発見されたロゼッタ＝ストーンに関する説明として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アラビア文字が書かれていた。
- ②アラム文字が書かれていた。
- ③ギリシア文字が書かれていた。
- ④ペルシア文字が書かれていた。

問4 下線部(b)第2回対仏大同盟に参加した国として誤っているものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①イギリス
- ②オーストリア
- ③プロイセン
- ④ロシア

B

1805年に第3回対仏大同盟が結成されると、ヨーロッパ各地で戦いが生じた。(c)トラファルガーの海戦では(ウ)の率いるイギリス海軍がフランス海軍を破った一方で、大陸ではナポレオンは(エ)と(オ)の連合軍をアウステルリッツの戦いで破り、(カ)を成立させた。また、ナポレオンは(キ)と(ク)の連合軍を破り、ティルジット条約を結んだ。一時はヨーロッパ大陸をほとんど支配下においたナポレオンだったが、ロシアへの遠征に失敗したことをきっかけとして諸国の反抗を受け、1814年に退位した。1815年にナポレオンは復位したが、ワーテルローの戦いに敗れ、(ケ)に流された。

地図【I】



問5 空欄(ウ)に入る人物の名として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①グラッドストーン
- ②ジョゼフ＝チェンバレン
- ③ディズレーリ
- ④ネルソン

問6 空欄(エ)と(オ)に入る語句の組み合わせとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①エ：オーストリア オ：オランダ
- ②エ：オーストリア オ：ロシア
- ③エ：プロイセン オ：オランダ
- ④エ：プロイセン オ：ロシア

問7 空欄（カ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①カルマル同盟
- ②ハンザ同盟
- ③ライン同盟
- ④ロンバルディア同盟

問8 空欄（キ）と（ク）に入る語句の組み合わせとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①キ：オーストリア ク：オランダ
- ②キ：オーストリア ク：ロシア
- ③キ：プロイセン ク：オランダ
- ④キ：プロイセン ク：ロシア

問9 空欄（ケ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①エルバ島
- ②コルシカ島
- ③シチリア島
- ④セントヘレナ島

問10 下線部(c)トラファルガーの海戦がおこなわれた場所として最も適当なものを、地図【I】の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

【第2問】中国の古典文明に関する次の文章 A と B を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

(a)周の勢力が衰えた後、中国では、数世紀にわたって分裂と抗争の時代が続き、(b)諸子百家と呼ばれる多くの新しい思想家や学派が生まれた。

(c)戦国の七雄と呼ばれた強国の中からとくに勢力をのばし、紀元前221年に中国を統一したのが秦である。秦の始皇帝は(d)様々な政策を進めたが、その死後各地で反乱が起こり、前206年に秦は滅んだ。

問1 下線部(a)周に関する説明 X、Y の正誤の組み合わせとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：周は長江流域におこった。

Y：親族関係の秩序などをさだめた宗法がつくられた。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問2 下線部(b)諸子百家に関して、学派と代表的な思想家の名の組み合わせとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

①学派：縦横家 思想家：張儀

②学派：道家 思想家：韓非

③学派：法家 思想家：孫子

④学派：墨家 思想家：老子

問3 下線部(c)戦国の七雄に含まれる国として誤っているものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

①殷

②燕

③齊

④楚

問4 下線部(d)始皇帝が行った政策に関する説明 X、Y の正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：貨幣・度量衡の統一をはかった。

Y：儒家の思想を保護した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

B

秦の滅亡後、劉邦が中国を統一し、漢王朝をたてた。劉邦は（ア）を新都として建設し、（イ）を鎮圧して中央集権体制を成立させた。前2世紀後半の武帝の時代には、漢は(e)大規模な対外戦争を行った。また、武帝は対外戦争で生じた財政難を解決するためにさまざまな(f)経済統制策を実行した。武帝の死後、漢の皇帝を廃位した（ウ）が新をたてたが、（エ）がおき、新はまもなく倒れた。

問5 空欄（ア）に入る語句として最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

①漢中

②長安

③敦煌

④洛陽

問6（問題削除）

問7 空欄（ウ）に入る人物の名として最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

①王安石

②王羲之

③王直

④王莽

問8 空欄(エ)に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①紅巾の乱
- ②黄巾の乱
- ③黄巢の乱
- ④赤眉の乱

問9 下線部(e)武帝が行った対外戦争に関する説明 X、Y の正誤の組み合わせとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：衛氏朝鮮を滅ぼして高麗などの4郡をおいた。

Y：匈奴を攻撃するため、張角を派遣した。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問10 下線部(f)武帝が行った経済統制策に関する説明 X、Y の正誤の組み合わせとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：塩の専売を行った。

Y：均輸・平準を行った。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

【第3問】世界恐慌とファシズム諸国の侵略に関する次の文章 A と B を読むとともに、地図【Ⅱ】を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

1929年10月、ニューヨーク株式市場で株価が暴落し、(a)アメリカ合衆国が恐慌におそわれた。アメリカ合衆国の恐慌の影響は全世界に波及し、世界恐慌と呼ばれる事態が生じた。

1931年にアメリカ合衆国の（ア）大統領は、政府間債務支払いの1年間停止を宣言したが、効果はなかった。1932年の選挙で大統領に当選したフランクリン＝ローズヴェルトは、(b)経済振興策を実行した。

イギリスでは、失業保険削減を含む緊縮財政の提案に対して（イ）が反対したため、マクドナルド首相が辞職した。

フランスでは、ドイツのヒトラー政権の成立や国内の極右勢力の活動などに危機感をもった中道・左翼勢力がまとまり、社会党の（ウ）を首相に人民戦線内閣が成立した。

問1 空欄（ア）に入る人物の名として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ウイルソン
- ②クーリッジ
- ③セオドア＝ローズヴェルト
- ④フーヴァー

問2 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①共和党
- ②保守党
- ③民主党
- ④労働党

問3 空欄（ウ）に入る人物の名として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①クレマンソー
- ②ド＝ゴール
- ③ブルム
- ④ペタン

問4 下線部(a)に関連して、恐慌がアメリカ合衆国で発生した背景に関する説明 X、Y の正誤の組み合わせとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

24

X：低関税政策が国際貿易の流れを妨げたこと。

Y：アメリカ合衆国に資金が集中し、それが土地や株式への投機に使われたこと。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問5 下線部(b)フランクリン＝ローズヴェルトが行った経済振興策に関する説明として誤っているものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 25

①金本位制に復帰した。

②工業製品の価格協定を公認した。

③テネシー川流域で公共事業を行った。

④農業生産を調整した。

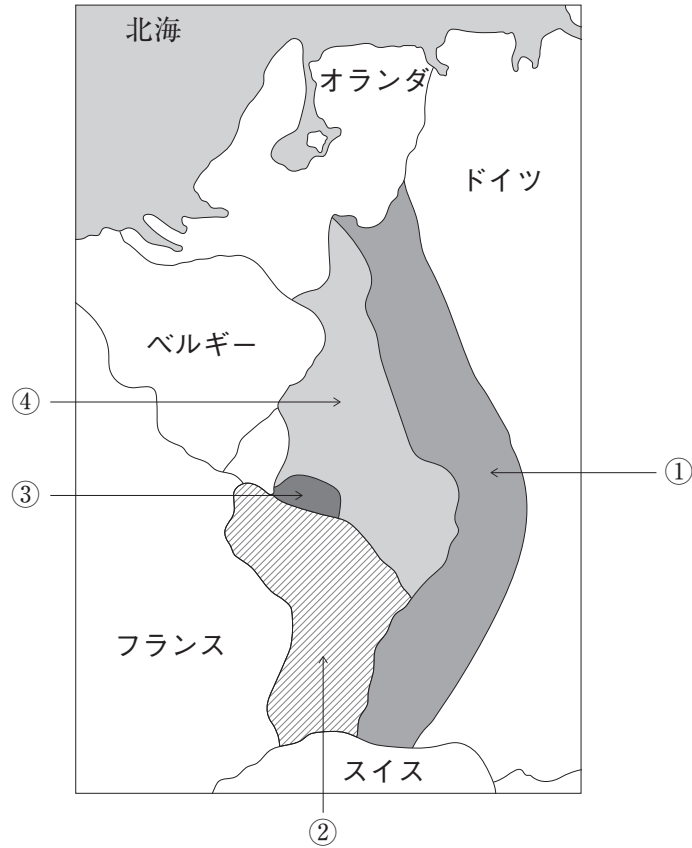
B

アメリカ合衆国について恐慌の被害が大きかったドイツでは、ヒトラーの指導の下で発展したナチ党が国民の支持を拡大した。ナチ党の**一党独裁の影響で、(c)ユダヤ人をはじめとする多くの人々が外国に亡命した。**ドイツは、1935年に再軍備を宣言し、翌36年にはロカルノ条約を破棄して（エ）に軍を進駐させた。

イタリアでは、ムッソリーニが1935年に（オ）に侵攻した。

スペインでは、1936年の選挙で勝利した人民戦線派の政府に対して、国内の保守派の支持を得た(d)フランコが反乱をおこした。政府側は、(e)国際義勇軍などに支援された。

地図【Ⅱ】



問6 空欄（エ）の位置として最も適当なものを、地図【Ⅱ】の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

問7 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①エジプト
- ②エチオピア
- ③チュニジア
- ④リビア

問8 下線部(c)に関連して、ナチス=ドイツからの亡命者の名として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アインシュタイン
- ②エーベルト
- ③シュトレゼマン
- ④ヒンデンプルク

問9 下線部(d)フランコがおこした反乱に関する説明 X、Y の正誤の組み合わせとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 29

X：フランスは不干渉の立場をとった。

Y：イタリアはフランコを支援した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問10 下線部(e)国際義勇軍に関連して、スペイン内戦時に国際義勇軍に参加した人物の名として誤っているものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 30

①オーウェル

②プレハーノフ

③ヘミングウェイ

④マルロー

【第4問】 オリエントと地中海世界に関する次の文章 A と B を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

東地中海世界では、紀元前13世紀頃にエジプト・ヒッタイトの勢力が後退し、(a)アラム人、(b)フェニキア人、ヘブライ人などのセム語系民族が活動を開始した。ヘブライ人は(c)ユダヤ教を確立した。ヘブライ人が建てた国は、ソロモン王の死後イスラエル王国とユダ王国に分裂した。その後、イスラエル王国は（ア）に滅ぼされ、ユダ王国も（イ）に征服された。

問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アッシリア
- ②新バビロニア
- ③バクトリア
- ④パルティア

問2 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アッシリア
- ②新バビロニア
- ③バクトリア
- ④パルティア

問3 下線部(a)アラム人に関する説明 X、Y の正誤の組み合わせとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：ダマスクスを中心に中継貿易で活躍した。

Y：アラム人がつかったアラム文字は、満州文字の母体となった。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問4 下線部(b)フェニキア人に関する説明 X、Y の正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：植民都市カルタゴを建設した。

Y：ダレイオス1世はフェニキア人の交易を保護した。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問5 下線部(c)ユダヤ教に関する説明 X、Y の正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：イエスはユダヤ教の祭司を批判した。

Y：ムハンマドはユダヤ教徒に信仰の自由を認めた。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

B

前6世紀半ばに（ウ）がおこしたアケメネス朝は、第3代の(d)ダレイオス1世の時代にエーゲ海からインダス川にいたる大帝国を築いた。アケメネス朝は、前5世紀に(e)ペルシア戦争に敗れ、前330年に(f)アレクサンドロス大王によって征服された。アレクサンドロス大王は東西にまたがる大帝国を築いたが、(g)彼の死後帝国の領土は分裂した。

問6 空欄（ウ）に入る人物の名として最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アルサケス
- ②アルダシール1世
- ③キュロス2世
- ④シャープール1世

問7 下線部(d)ダレイオス1世に関する説明として誤っているものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①「王の目」「王の耳」と呼ばれる監察官を巡回させた。
- ②各州にサトラップと呼ばれる知事をおいた。
- ③世界初の金属貨幣をつくった。
- ④都スサを中心に駅伝制を整えた。

問8 下線部(e)ペルシア戦争に関連して、ペルシア戦争の戦いの名称として誤っているものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アルベラの戦い
- ②サラミスの海戦
- ③プラタイアの戦い
- ④マラトンの戦い

問9 下線部(f)アレクサンドロス大王に関する説明 X、Y の正誤の組み合わせとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：アクティウムの海戦でテーベとアテネの連合軍に勝利した。

Y：イッソスの戦いでダレイオス3世を破った。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問10 下線部(g)に関連して、アレクサンドロス大王の死後の前4世紀から前3世紀にかけて成立した諸国に関する説明 X、Y の正誤の組み合わせとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：セレウコス朝シリアは、イスラーム勢力に征服されて滅んだ。

Y：プトレマイオス朝エジプトは、ローマのトラヤヌス帝によって滅ぼされた。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤